

令和2年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会馬術競技場における
衛生管理委託事業に係わる「マダニ駆除計画」に関する第2回有識者会議議事録

日時：令和2年8月5日（水） 13：30～14：15

場所：WEB会議

参加者：農林水産省	坂本課長補佐
	川崎係長
	寺田獣医学博士
(株)アグリマート	白井技術グループリーダー
日本防疫殺虫剤協会	千保専務理事
国際衛生㈱	犬塚、鈴庄（記）

令和2年度の馬事公苑および海の森公園における第1回マダニ現地調査経過報告及び第2回現地調査に関して、有識者を交え、今後の方針確定を目的に、会議を実施した。以下、概要を示す。

【会議概要】

第1回現地調査経過報告及び第2回現地調査について

- ・ 7月14日（馬事公苑）、15日（海の森公園）に実施した第1回現地調査に関して、資料を基に経過報告（鈴庄）。
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、フランネル法ではマダニは捕獲されなかった。また、リター層に関しては3週後の経過観察でもマダニは確認されなかった。4週間後の経過観察終了後に会議参加者に結果の速報を連絡予定。
- ・ 馬事公苑では、西側外周フェンスの一部にネズミ類が侵入可能な隙間が確認された。
- ・ 海の森公園では、調査箇所である駐車場植林地③がアスファルト舗装やプレハブ施設設置のため緑地が減少したことから、増設された厩舎周りに調査箇所を変更した。
- ・ 海の森公園の東側植林地で小動物の糞と樹上に鳥類の巣が確認された。
- ・ 馬事公苑では7月下旬から8月上旬にCM撮影、11月から12月にかけて複数の馬術大会が計画されている。オリンピック・パラリンピック本大会前最後の大会が2021年1月に予定されており、当初11月に予定していた第4回調査を2020年2月実施に変更した。
- ・ 第2回現地調査を8月25日、26日に実施で計画している。また、ネズミ類捕獲調査も実施予定で、トラップは28日に回収予定。
- ・ 海の森公園の鳥類対策、熱中症リスク軽減を目的とした調査時間の変更、ネズミ類捕獲調査について、有識者の皆様のご意見をお伺いしたい。

質疑・確認事項

- ・ 熱中症リスクを低減させる目的で現在、10 時頃から開始している調査の開始時間を気温が低い時間帯に早めることを検討しています。調査開始時間を早めることが、マダニの捕獲に影響しますか？（犬塚）

→朝の早い時間帯、例えば8時頃だと草本に朝露が付着していることがあり、フランネル布が濡れて捕獲効率が悪化することが懸念されます。朝露がなくなる10時以降に調査を開始することが望ましいです。夏季であれば経験上16時～19時でもマダニの調査は可能なので、高温を避けるのであれば、朝早くよりは夕方に実施する方が望ましいと思います。また、フタトゲチマダニの幼ダニが草に上る時間帯に9時～12時と17時～24時の2回ピークがあったと文献で報告されています。調査当日の天候にもよりますが、調査時間の優先順位としては1番が日中、2番が夕方、3番が朝（9時より前）になると思います（寺田様）。

→調査を担当する部署にも確認して、調査時間を改めてご報告します（犬塚）。

- ・ 海の森公園で鳥類の巣が確認された東側植林地は木々が多く、フランネル調査が実施しにくい環境です。このような箇所ではフランネル調査を実施する上で何か適した方法がありますか？（犬塚）

→フランネル布の旗ずり法が困難な場合は、布を引きずるのではなく旗のように布を草の上で振るような方法があります。フランネル布をテニスラケットのネットの部分に取り付けて、木々の周辺の草をタッチする方法でもマダニは捕獲出来ます。また、フランネル布を前掛けのように調査員が着用し、調査箇所に入っていく方法もあります。ただ、マダニの歩行移動距離は長くないとされているので、コースから離れた木々が生い茂る森の中を調査するよりかは、コース周りでマダニの潜伏箇所となり得る場所、例えば湿度が高い水場付近等の調査に注力したほうが良いのではないのでしょうか（寺田様）。

- ・ 海の森公園では、本大会までコースはまだ分からないと思いますが、コースに水場が含まれている場合、そこがマダニの潜伏場所になるなら、馬がマダニと接触するリスクがあるので、そういった水場の調査は必要と思います（坂本様）。
- ・ 海の森公園で鳥類が多数確認されていますが、東京都は野鳥の駆除は実施しない方針と前回の会議で伺ったと認識しております（坂本様）。

→私も鳥類の駆除は難しいと思います。また、鳥類はマダニを持ち込むリスクが確かにありますが、鳥類、哺乳類ともに嗜好するマダニは多くはなく、また馬ピロプラズマ病原虫を媒介することが知られているマダニのうち、現在日本で唯一生息が認められるクリイロコイタマダニの好宿主は犬であり、鳥類はそれほど好みではないと思います。鳥類の駆除よりは、馬側でのマダニ対策を優先してはどうでしょうか（寺田様）。

- ・ 海の森公園で調査箇所が変更されましたが、この変更は妥当でしょうか？（川崎様）

→馬が滞在する時間の長い厩舎周りに変更していますので、妥当だと思います（寺田様）。

→調査箇所の変更について、資料に変更した旨の記録を残してください（川崎様）。

→承知致しました（鈴庄）。

- ・ 第2回調査ではネズミ類捕獲調査を実施するとのことですが、昨年度はネズミ類の捕獲はありましたか？（坂本様）

→昨年度はネズミ類の捕獲はありませんでした（鈴庄）。

→ネズミ類の捕獲について、有識者の皆様からアドバイスはありますか（坂本様）。

→固形の毒餌や無毒餌を使用することがあります。このような餌は喫食跡が分かるのが利点です。ネズミの捕獲に一番適しているのは粘着板ですが、屋外での使用には適していないので、仕様書にあるタイプのトラップを使用することがベストだと思います。ネズミ類の捕獲については、国際衛生のこれまでの知見を基に実施しては如何でしょうか。（白井様）。

- ・ ネズミ類に寄生するマダニは馬にも嗜好性を示す可能性があるので、ネズミ類の調査は必要です。また、馬事公苑で11月から12月にかけて大会が多く開催されますが、その際に犬等を公苑内に持ち込まないように改めて注意喚起が必要です（寺田様）。

→JRAに改めて伝えます（坂本様）。

- ・ 海の森公園で確認された小動物の糞は、おそらく以前から住み着いている猫のものであると思われます。第2回調査では、海の森公園に赤外線で感知する動物撮影用のカメラを設置するか検討します。
- ・ 馬事公苑の西側フェンス下の隙間については、ネズミが入るくらいの隙間があったこと、JRAに補修できないかと依頼しておきます（坂本様）

今後の予定

- ・ 第2回現地調査は8月25日、26日に実施予定。併せてネズミ類調査も実施予定。
- ・ 第1回現地調査リター層の経過観察が終了したら、速報を会議参加者に送信し、後日、報告書を作成する（鈴庄対応）。
- ・ 海の森公園での調査時間について、調整の上、会議出席者に連絡する。

以上